

歯科医師国家試験の早期化について

「歯科医師国家試験制度改善検討部会 報告書」(抜粋)
平成16年3月9日

IV. 試験の早期化

現行の歯科医師国家試験は3月に試験を実施し、4月に合格発表を行っている。このため、合格発表後、歯科医籍に登録されるまでの約1か月間は、医療機関に雇用されながら歯科医業に従事することができない状況にある。

一方、平成18年4月から歯科医師臨床研修の必修化が決定している。歯科医師臨床研修の必修化を契機として、歯科医師国家試験の合格者が4月から円滑に研修を実施できる体制を整備していくことが必要である。

今後、厚生労働省は、関係団体等との十分な調整を行い、歯科医師国家試験の早期化が実現できるよう努めるべきである。

歯科医師国家試験制度改善検討部会委員

石橋 寛二	岩手医科大学歯学部教授
伊藤 学而	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授
小野瀬英雄	日本大学教授
川添 堯彬	大阪歯科大学教授
東理十三雄	日本歯科大学新潟歯学部長
黒崎 紀正	東京医科歯科大学歯学部附属病院長
斎藤 毅	日本大学教授
高田 健治	大阪大学大学院歯学研究科教授
戸田 忠夫	大阪歯科大学教授
中村 亮	徳島大学名誉教授
橋本 修二	藤田保健衛生大学医学部教授
花田 晃治	新潟大学大学院医歯学総合研究科教授
久光 久	昭和大学歯学部教授
森本 俊文	松本歯科大学総合歯科医学研究所教授
薬師寺 仁	東京歯科大学教授

は部会長（五十音順、敬称略）